



南部小だより

No.9 令和8年1月30日



※タイトルのキャラクターは、『ONE PIECE 先生応援プロジェクト』に登録し、許可を得て使用しているものです。

2026年が始まり、1か月が経とうとしています。皆さま、今年もよろしくお願いいたします。
2学期末に心配したインフルエンザの流行も収まり、3学期最初の始業式には子ども達の元気な姿を見ることができました。3学期は、卒業式と修了式を控えた学年のまとめの学期となります。今学期も子ども達の心身の成長に向け、教職員全員でがんばります。

さて、南部小学校では、保護者や地域の方が子ども達のために活動してくださっています。毎週水曜日のなんぶくさんによる読み聞かせや校外学習での引率補助、運動場の草刈りや側溝掃除、樹木の剪定など、特に2学期は多くの方がボランティアとして活動してくださいました。そして、12月29日、ブログで紹介させていただいたように、地域の方が体育館の西扉の塗装を行ってくださいました。毎日の授業とその準備だけでも勤務時間内に終わることが難しい教員の勤務状況において、このように多くの方が学校のために力を尽くしてくれることに、本当に感謝しています。子ども達はやがて学校を離れ、家庭や地域に戻ります。これからも子ども達のために、多くの皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。(校長)

「学校保健委員会や書道家パフォーマンスを参観しませんか？」

＜学校保健委員会＞

2月6日（金）⑥14:10～15:25 体育館（3～6年生が参加）

「けがをしない体をつくろう！」をテーマに、保健委員会が主催で学校保健委員会を開催します。

＜内 容＞ 保健委員の発表（5分）、講師の実演・講話・筋トレアドバイス（60分程度）

＜講 師＞ パラ・パワーリフティング日本代表 日野 雄貴さん

＜日野 雄貴 さん＞ 1997年徳島県吉野川市生まれ。

先天性骨欠損という100万人に1人の障がいを持つ。医師からは歩くことが出来ないと診断されるもスポーツがしたい。そんな思いが僕の足を動けるようにしてくれた。

幼少期より野球を始め、17歳に障がい者野球の名門神戸コスモスへ入団。その後、補強のために始めたパラ・パワーリフティング。恩師との出会いがあり、パラ・パワーリフティングの世界へ。その身体的特徴が「足が不自由」から「マッチョ」に変わり、自分の姿にも自信がついた。

スポーツで人生を変えてきた私だから伝えられる、魅せられる。数々の逆境を乗り越えた。経験談を基に、障がいがあっても社会貢献が出来る、パワーに満ち溢れている私が皆様にもパワーをおすそ分け致します。



＜江川翠苑先生による書道パフォーマンス＞

2月16日（月）②9:40～10:25 体育館（全児童参加）

＜講 師＞ 江川 翠苑さん

児童の豊かな感性を育むとともに、伝統文化への理解を深めるため書道パフォーマンスを実施します。子ども達が、音楽と書が融合したダイナミックな表現を目の当たりにすることで、文字のもつ力や表現の楽しさを体感し、自らの想いを形にする意欲を高めることを目的とします。また、「翔」という揮毫（きごう）される文字を通じて、これからの夢や希望を共有する機会とします。完成された書は、南部小玄関壁面に展示していく予定です。

＜江川 翠苑 さん＞1958年和歌山県生まれ

10歳より書道始める（書暦57年） 翠の会主宰、謹慎書道会理事、読売書法会幹事、中部日本書道会評議員を兼務。デザイン書も手がけており、南部小学区の丸一酒造さんのお酒「ほししいずみ」「滔々」のラベルの文字を書かれている。

参観を希望される方は、<https://forms.gle/rnv4fdAAznNVcYK99> ご回答ください。

<学校の様子> 学校公開日 大勢の参観ありがとうございました



南部小学校「学校日記」

日々の学校の様子をブログで紹介しています。授業や行事をがんばる子ども達の様子をご覧ください。南部小学校 学校日記 <https://agui.schoolweb.ne.jp/2310259/weblog>

